

このクイックガイドは最も基本的な設定でハードディスクをご使用になるための簡単な説明をしています。各機能の詳しい内容や操作については、取扱説明書をご覧ください。

本製品はカメラを接続し、電源を投入するだけで録画が開始いたします。

はじめに設定しましょう

1. 動きのスムーズな映像を再生する

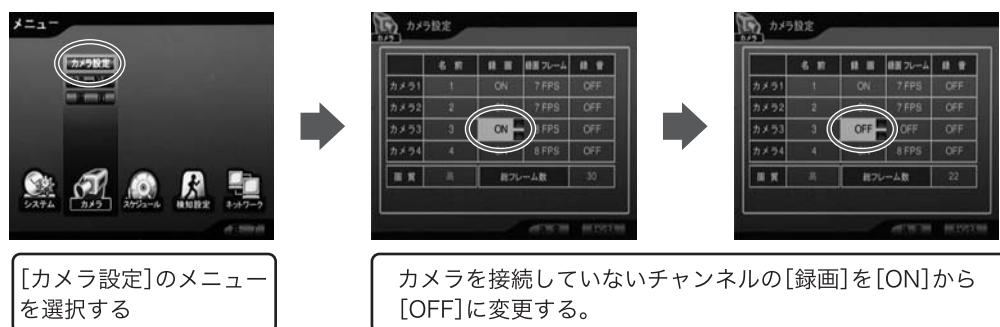
■ カメラを接続していないチャンネルの録画をOFFに変更する

初期の設定内容は、カメラの接続・未接続にかかわらず、すべてのチャンネルを録画する設定になっています。カメラを接続していないチャンネルの【録画】の設定を【OFF】に変更し、カメラを接続しているチャンネルのフレーム数を増やしてください。

再生時に、よりスムーズな映像を見ることができます。

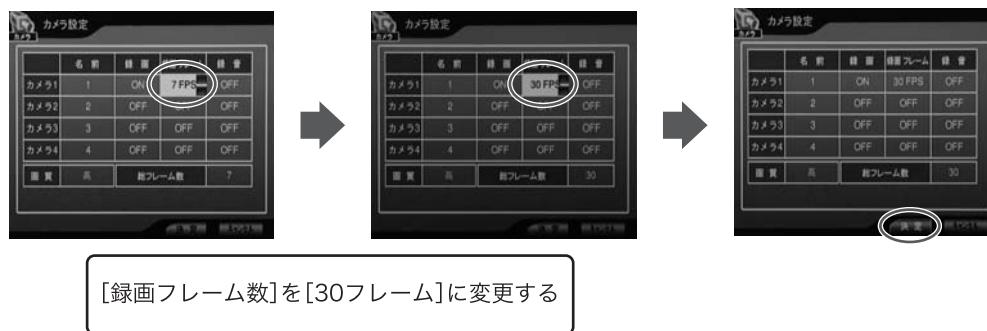
※カメラ未接続のチャンネルが【ON】に設定されている場合、カメラが未接続のチャンネルにおいても、録画時にフレームが使用されます。

【例：カメラ1台接続の場合】



次に録画フレーム数を
変更します。

■ カメラを接続しているチャンネルの録画フレーム数を変更する



【決定】ボタンを押して
変更を確定します。

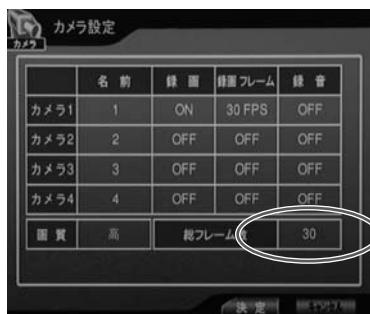
■ 録画フレーム数を変更する

◇本製品はカメラごとに録画フレーム数を設定できます。

(初期設定は(カメラ1・2・3・4→7・7・8・8フレーム)、全体で(30)フレームになっています。)

変更する場合は、下の「録画時間の目安」もしくは[取扱説明書]47ページの[録画時間の目安]の表を参考にしてください。

◇録画時間を変更する場合は、総フレーム数を目安にしてください。



総フレーム数の表示位置

※総フレーム数は、自動的にカメラのフレーム数の合計が表示されます。

【録画時間の目安】

録画総フレーム数	30	15	10	8	7	5	3	1
録画時間の目安	10.0日	13.5日	15.3日	17.2日	18.9日	25.2日	41.4日	124日

※録画時間の表は、あくまでも目安です。録画可能時間は、[録画画質]の設定によっても変わります。カメラの設置場所の環境や入力する映像の色・明るさ・動き等で録画可能な時間が増減します。また、カメラごとに録画フレーム数を設定できるため、複数のカメラを接続した場合、各カメラの録画フレーム数の組み合わせによっては上記の表の数にならない場合があります。

設定・変更の方法…取扱説明書 47ページ「録画フレーム数を変更する」を参照

※再生スピードは、カメラごとに録画スピードと同じスピードで再生します。

2. カメラの配線が抜けたとき等にブザーを鳴らす

カメラの配線が抜けたり、断線したり、またカメラの電源が落ちたり、カメラ入力信号が途切れたときに、本体の警報ブザーでお知らせする機能です。より確実な記録のために、[ON]にすることをおすすめします。

※初期の設定は全チャンネル「OFF」になっています。

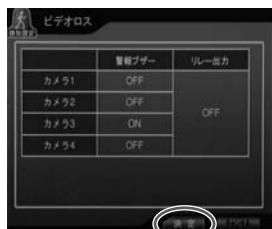
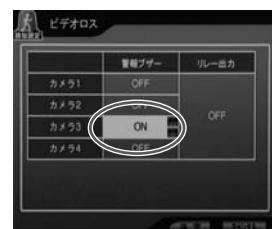
※カメラを接続していないカメラチャンネルは、[OFF]にしてください。



[ビデオロス]のメニューを選択する



カメラを接続しているチャンネルの[警報ブザー]を[OFF]から[ON]に変更する。



[決定]ボタンを押して変更を確定します。

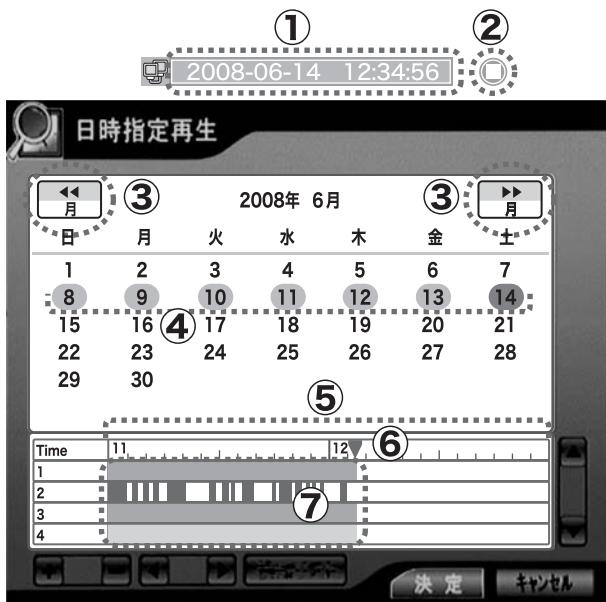
設定・変更の方法…取扱説明書 66ページ「警報ブザーを鳴らす」を参照

録画データの再生方法

■ 日時を指定して再生できます。

ライブ画面から【再生】ボタンを押すと[日時指定再生画面]表示されます。

◇[日時指定再生]画面について



- ① 三角マークが示す時間を表します
- ② 動作状態を表します
- ③ 表示月を変更します
- ④ 録画済みのデータがある日付を表します
- ⑤ 時間帯の表示枠を表します
(表示させる時間を変更できます)
- ⑥ 三角マークを移動して再生する時間を設定します
- ⑦ 録画済みのデータがある時間帯を表します

再生画面を表示させた時点は、
日付：当日がピンク色
三角マーク：画面を表示させた約1分前
になっています。

◇録画の状態

濃紺：イベントでの録画
薄青：録音付きの録画



青：通常の録画

白：録画データなし

◇再生の手順

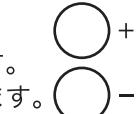
①月の変更
録画データが月をまたがっている場合に変更します。



②日付の変更
再生させたい日付を選択します。
(日付をピンク色にします)



③時間表示枠の変更
必要に応じ、時間帯の枠を調整します。
三角マークを移動させ時間を指定します。



④時間の変更
(変更は1分単位になります)
三角マークを移動させ時間を指定します。



⑤画面上部に表示されている月日、時間を確認し
決定ボタンを押すと再生がスタートします。



ライブ
○ ボタンを押すと、ライブ画面に戻ります。

※日時を指定して再生する方法以外に検知リスト
を使用し再生することができます。

パソコンですぐ再生できる録画データ

本製品は、HDDに記録された録画データの一部をUSBフラッシュメモリに取り出し、パソコンで再生することができます。

本製品はパソコンでの映像再生時に、再生ソフトを必要としません。

① 映像をコピーする



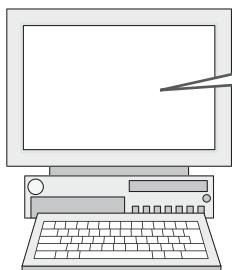
再生用アプリケーションフォーマットのコピーデータが作成されます。

再生するパソコンに再生用のソフト等をインストールする必要がありません。

設定の方法…取扱説明書 85ページを参照



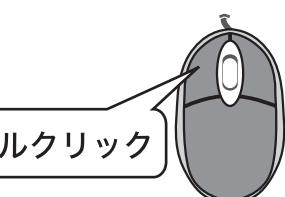
② USBフラッシュメモリをパソコンに差し込む



データをダブルクリックする



ダブルクリック



③ すぐに再生操作画面が表示されます。

再生はパソコン上で操作します。

操作方法…取扱説明書 86・87ページを参照

